

開講年度	令和 5 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	長谷川靖洋・董 信子
学科	公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 30 週実施)			単位数	2単位
授業内容	前期はビジネスマナーおよび面接対策・人との接し方、後期は面接対策・自己分析を行う。				
到達目標	専門学校生、また公務員試験に向かう者としてのビジネスマナーや面接マナーが分かるようになる。また、自己分析により、自分をより深く知り、自己PRにつなげられるようになる。				
担当教員 実務経験	董：客室乗務員として国際線に勤務し、機内通訳や機内アナウンスも担当。この経験から学んだことをもとに、面接対策だけでなく、社会人として必要なマナーや良いコミュニケーションの取り方なども伝えていく。 長谷川：学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(木)	1	自己分析（自身の長所・短所等） 公務員試験受験指導、適性検査	
2	4/20(木)	1	身だしなみとおしゃれの違い 公務員試験受験指導、適性検査	
3	4/27(木)	1	第一印象に必要な5要素 挨拶 公務員試験受験指導、適性検査	
4	5/11(木)	1	第一印象に必要な5要素 表情 公務員試験受験指導、適性検査	
5	5/18(木)	1	第一印象に必要な5要素 立居振舞 公務員試験受験指導、適性検査	
6	5/25(木)	1	第一印象に必要な5要素 声・発声 公務員試験受験指導、適性検査	
7	6/1(木)	1	第一印象に必要な5要素 敬語等 公務員試験受験指導、適性検査	
8	6/8(木)	1	第一印象に必要な5要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
9	6/15(木)	1	第一印象に必要な5要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
10	6/22(木)	1	既出質問研究 公務員試験受験指導、適性検査	
11	6/29(木)	1	面接対策 グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
12	7/6(木)	1	面接対策 グループディスカッション 公務員試験受験指導	
13	7/13(木)	1	模擬面接 グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
14	7/20(木)	1	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	
15	7/27(木)	1	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）		25 %	学習成果評価（定期試験） 75 %

開講年度	令和 5 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	長谷川靖洋・董 信子
学科	公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	8/31(木)	1	公務員試験過去問演習		
17	9/7(木)	1	公務員試験過去問演習		
18	9/14(木)	1	公務員試験過去問演習		
19	9/21(木)	1	公務員試験過去問演習		
20	9/28(木)	1	公務員試験面接対策		
21	11/2(木)	1	公務員試験の振り返り		
22	11/9(木)	1	自己分析		
23	11/16(木)	1	SPI対策		
24	11/30(木)	1	体育祭に向けて		
25	12/7(木)	1	体育祭に向けて		
26	12/14(木)	1	SPI対策		
27	12/21(木)	1	SPI対策		
28	1/11(木)	1	SPI対策		
29	1/18(木)	1	SPI対策		
30	1/25(木)	1	後期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（Ａクラス）			担当者名	松井 幸三郎
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	塾講師				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(火)	1	ガイダンス Ⅰ－1 命題・論理	
2	4/14(金)	2	Ⅰ－1 命題・論理	
3	4/18(火)	1	Ⅰ－2 暗号・規則性	
4	4/21(金)	2	Ⅰ－3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/25(火)	1	Ⅰ－3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/28(金)	2	Ⅰ－4 うそと本当の問題	
7	5/2(火)	1	Ⅰ－4 うそと本当の問題	
8	5/9(火)	2	Ⅰ－5 対応関係	
9	5/12(金)	1	Ⅰ－5 対応関係	
10	5/16(火)	2	Ⅰ－6 順位・順序(1)	
11	5/19(金)	1	Ⅰ－6 順位・順序(1)	
12	5/23(火)	2	Ⅰ－8 順位・順序(2)	
13	5/26(金)	1	Ⅰ－8 順位・順序(2)	
14	5/30(火)	2	Ⅰ－9 比較	
15	6/2(金)	1	Ⅰ－10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（Ａクラス）			担当者名	松井 幸三郎
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画		実施内容・所感
16	6/9(金)	2	Ⅰ－10 手順		
17	6/13(火)	1	Ⅰ－11 曜日に関する問題		
18	6/16(金)	2	Ⅰ－12 位置		
19	6/20(火)	1	Ⅰ－12 位置		
20	6/23(金)	2	Ⅰ－13 方位		
21	6/27(火)	1	Ⅰ－14 道順		
22	6/30(金)	2	Ⅱ－1 平面図形の分割と構成		
23	7/4(火)	1	Ⅱ－2 平面図形の個数		
24	7/7(金)	2	Ⅱ－3 立体図形の分割と個数 Ⅱ－4 立体の個数		
25	7/11(火)	1	Ⅱ－5 立方体の展開図 Ⅱ－6 立方体以外の展開図		
26	7/14(金)	2	Ⅱ－7 折り紙		
27	7/18(火)	1	Ⅱ－8 投影図・見取図 Ⅱ－9 さいころ		
28	7/21(金)	2	Ⅱ－10 軌跡		
29	7/25(火)	2	Ⅱ－11 断面図・回転図		
30	7/28(金)	1	前期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（Ｂクラス）			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員実務経験	長谷川：学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(火)	1	ガイダンス Ⅰ－1 命題・論理	
2	4/14(金)	2	Ⅰ－1 命題・論理	
3	4/18(火)	1	Ⅰ－2 暗号・規則性	
4	4/21(金)	2	Ⅰ－3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/25(火)	1	Ⅰ－3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/28(金)	2	Ⅰ－4 うそと本当の問題	
7	5/2(火)	1	Ⅰ－4 うそと本当の問題	
8	5/9(火)	2	Ⅰ－5 対応関係	
9	5/12(金)	1	Ⅰ－5 対応関係	
10	5/16(火)	2	Ⅰ－6 順位・順序(1)	
11	5/19(金)	1	Ⅰ－6 順位・順序(1)	
12	5/23(火)	2	Ⅰ－8 順位・順序(2)	
13	5/26(金)	1	Ⅰ－8 順位・順序(2)	
14	5/30(火)	2	Ⅰ－9 比較	
15	6/2(金)	1	Ⅰ－10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅰ（Ｂクラス）			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画		実施内容・所感
16	6/9(金)	2	Ⅰ－10 手順		
17	6/13(火)	1	Ⅰ－11 曜日に関する問題		
18	6/16(金)	2	Ⅰ－12 位置		
19	6/20(火)	1	Ⅰ－12 位置		
20	6/23(金)	2	Ⅰ－13 方位		
21	6/27(火)	1	Ⅰ－14 道順		
22	6/30(金)	2	Ⅱ－1 平面図形の分割と構成		
23	7/4(火)	1	Ⅱ－2 平面図形の個数		
24	7/7(金)	2	Ⅱ－3 立体図形の分割と個数 Ⅱ－4 立体の個数		
25	7/11(火)	1	Ⅱ－5 立方体の展開図 Ⅱ－6 立方体以外の展開図		
26	7/14(金)	2	Ⅱ－7 折り紙		
27	7/18(火)	1	Ⅱ－8 投影図・見取図 Ⅱ－9 さいころ		
28	7/21(金)	2	Ⅱ－10 軌跡		
29	7/25(火)	2	Ⅱ－11 断面図・回転図		
30	7/28(金)	1	前期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（Ａクラス）			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を営む会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理（いづな書店）				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	4	ガイダンス Ⅰ－1 虫食い算	
2	4/13(水)	3	Ⅰ－1 虫食い算	
3	4/18(月)	4	Ⅰ－2 魔方陣	
4	4/20(水)	3	Ⅰ－3 倍数と約数	
5	4/25(月)	4	Ⅰ－3 倍数と約数	
6	4/27(水)	3	Ⅰ－4 整数問題	
7	5/2(月)	4	Ⅰ－4 整数問題	
8	5/9(月)	4	Ⅰ－5 数の性質	
9	5/11(水)	3	Ⅰ－5 数の性質	
10	5/16(月)	4	Ⅰ－6 方程式・不等式	
11	5/18(水)	3	Ⅰ－6 方程式・不等式	
12	5/23(月)	4	Ⅰ－6 方程式・不等式	
13	5/25(水)	3	Ⅰ－7 集合	
14	5/30(月)	4	Ⅰ－7 集合	
15	6/1(水)	3	Ⅰ－8 割合・百分率	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（Ａクラス）			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画		実施内容・所感
16	6/6(月)	4	Ⅰ－8 割合・百分率		
17	6/8(水)	3	Ⅰ－9 濃度		
18	6/13(月)	4	Ⅰ－9 濃度		
19	6/15(水)	3	Ⅰ－10 対比		
20	6/20(月)	4	Ⅰ－11 利益		
21	6/22(水)	3	Ⅰ－12 速さ		
22	6/27(月)	4	Ⅰ－12 速さ		
23	6/29(水)	3	Ⅰ－12 速さ		
24	7/4(月)	4	Ⅰ－13 場合の数		
25	7/6(水)	3	Ⅰ－14 確率		
26	7/11(月)	4	Ⅰ－14 確率		
27	7/13(水)	3	Ⅱ－1 三平方の定理		
28	7/20(水)	3	Ⅱ－2 円・おうぎ形の面積		
29	7/25(月)	4	Ⅱ－3 立体の体積と表面積		
30	7/27(水)	3	前期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（Ｂクラス）			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理（いづな書店）				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(月)	4	ガイダンス Ⅰ－１ 虫食い算	
2	4/13(水)	3	Ⅰ－１ 虫食い算	
3	4/18(月)	4	Ⅰ－２ 魔方陣	
4	4/20(水)	3	Ⅰ－３ 倍数と約数	
5	4/25(月)	4	Ⅰ－３ 倍数と約数	
6	4/27(水)	3	Ⅰ－４ 整数問題	
7	5/2(月)	4	Ⅰ－４ 整数問題	
8	5/9(月)	4	Ⅰ－５ 数の性質	
9	5/11(水)	3	Ⅰ－５ 数の性質	
10	5/16(月)	4	Ⅰ－６ 方程式・不等式	
11	5/18(水)	3	Ⅰ－６ 方程式・不等式	
12	5/23(月)	4	Ⅰ－６ 方程式・不等式	
13	5/25(水)	3	Ⅰ－７ 集合	
14	5/30(月)	4	Ⅰ－７ 集合	
15	6/1(水)	3	Ⅰ－８ 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅰ（Ｂクラス）			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画		実施内容・所感
16	6/6(月)	4	Ⅰ－８ 割合・百分率		
17	6/8(水)	3	Ⅰ－９ 濃度		
18	6/13(月)	4	Ⅰ－９ 濃度		
19	6/15(水)	3	Ⅰ－10 対比		
20	6/20(月)	4	Ⅰ－11 利益		
21	6/22(水)	3	Ⅰ－12 速さ		
22	6/27(月)	4	Ⅰ－12 速さ		
23	6/29(水)	3	Ⅰ－12 速さ		
24	7/4(月)	4	Ⅰ－13 場合の数		
25	7/6(水)	3	Ⅰ－14 確率		
26	7/11(月)	4	Ⅰ－14 確率		
27	7/13(水)	3	Ⅱ－１ 三平方の定理		
28	7/20(水)	3	Ⅱ－２ 円・おうぎ形の面積		
29	7/25(月)	4	Ⅱ－３ 立体の体積と表面積		
30	7/27(水)	3	前期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅰ（Ａクラス）			担当者名	深井 淳二
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に生物・化学を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	3	生物 ガイダンス 1 細胞の構造と働き	
2	4/13(木)	4	生物 2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	4/17(月)	3	生物 2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	4/20(木)	4	生物 3 恒常性と調節(1)	
5	4/24(月)	3	生物 3 恒常性と調節(2)	
6	4/27(木)	4	生物 3 恒常性と調節(3)	
7	5/1(月)	3	生物 4 刺激と反応(1)	
8	5/8(月)	4	生物 4 刺激と反応(2)	
9	5/11(木)	4	生物 5 遺伝(1)	
10	5/15(月)	3	生物 5 遺伝(2)	
11	5/18(木)	4	生物 6 植物の反応・調節(1)	
12	5/22(月)	3	生物 6 植物の反応・調節(2)	
13	5/25(木)	4	生物 7 生殖・発生・進化	
14	5/29(月)	3	化学 生物のまとめ	
15	6/1(木)	4	化学 1 物質の構成・化学結合(1)	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択	
科目名	自然科学Ⅰ（Ａクラス）			担当者名	深井 淳二	
学科	公務員科		コース	A組	学年	1年

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/8(木)	3	化学 1 物質の構成・化学結合(2)	
17	6/12(月)	4	化学 2 周期表(1)	
18	6/15(木)	3	化学 2 周期表(2)	
19	6/19(月)	4	化学 3 物質の状態	
20	6/22(木)	3	化学 4 化学反応(1)	
21	6/26(月)	4	化学 4 化学反応(2)	
22	6/29(木)	3	化学 5 酸・塩基(1)	
23	7/3(月)	4	化学 5 酸・塩基(2)	
24	7/6(木)	3	化学 6 酸化・還元(1)	
25	7/10(月)	4	化学 6 酸化・還元(2)	
26	7/13(木)	3	化学 7 金属の性質	
27	7/20(木)	4	化学 8 気体の製法と性質(1)	
28	7/24(月)	3	化学 8 気体の製法と性質(2)	
29	7/27(木)	4	化学 化学のまとめ	
30	7/31(月)	3	前期末試験	

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I (Bクラス)			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学(理科)の分野の中で、特に生物・化学を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集(ウイネット)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	3	生物 ガイダンス 1 細胞の構造と働き	
2	4/13(木)	4	生物 2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	4/17(月)	3	生物 2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	4/20(木)	4	生物 3 恒常性と調節(1)	
5	4/24(月)	3	生物 3 恒常性と調節(2)	
6	4/27(木)	4	生物 3 恒常性と調節(3)	
7	5/1(月)	3	生物 4 刺激と反応(1)	
8	5/8(月)	4	生物 4 刺激と反応(2)	
9	5/11(木)	4	生物 5 遺伝(1)	
10	5/15(月)	3	生物 5 遺伝(2)	
11	5/18(木)	4	生物 6 植物の反応・調節(1)	
12	5/22(月)	3	生物 6 植物の反応・調節(2)	
13	5/25(木)	4	生物 7 生殖・発生・進化	
14	5/29(月)	3	化学 生物のまとめ	
15	6/1(木)	4	化学 1 物質の構成・化学結合(1)	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価(平常点)		20 %	学習成果評価(定期試験) 80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I (Bクラス)			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース	A 組	学年	1年

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/8(木)	3	化学 1 物質の構成・化学結合(2)	
17	6/12(月)	4	化学 2 周期表(1)	
18	6/15(木)	3	化学 2 周期表(2)	
19	6/19(月)	4	化学 3 物質の状態	
20	6/22(木)	3	化学 4 化学反応(1)	
21	6/26(月)	4	化学 4 化学反応(2)	
22	6/29(木)	3	化学 5 酸・塩基(1)	
23	7/3(月)	4	化学 5 酸・塩基(2)	
24	7/6(木)	3	化学 6 酸化・還元(1)	
25	7/10(月)	4	化学 6 酸化・還元(2)	
26	7/13(木)	3	化学 7 金属の性質	
27	7/20(木)	4	化学 8 気体の製法と性質(1)	
28	7/24(月)	3	化学 8 気体の製法と性質(2)	
29	7/27(木)	4	化学 化学のまとめ	
30	7/31(月)	3	前期末試験	

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学 I			担当者名	松井幸三郎・鈴木琴絵
学科	公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。				
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	〃絶対〃合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	2	日12 近世2 (江戸時代1) 日13 近世3 (江戸時代2)	
2	4/11(火)	1	世24 中国史① 世25 中国史②	
3	4/17(月)	2	日14 近世4 (江戸時代3) 日15 近世5 (江戸時代4)	
4	4/18(火)	1	世24 中国史③ 世25 中国史④	
5	4/24(月)	2	日16 近世6 (江戸時代5) 日17 近世7 (江戸時代6)	
6	4/25(火)	1	世26 中国史⑤ 世27 中国史⑥	
7	5/1(月)	2	日18 近代1 (明治1) 日19 近代2 (明治2)	
8	5/2(火)	1	世28 中国史⑦ 世29 中国史⑧	
9	5/8(月)	2	日20 近代3 (明治3) 日21 近代4 (明治4)	
10	5/9(火)	1	世30 中国史⑨ 世31 中国史⑩	
11	5/15(月)	2	日22 近代5 (大正) 日23 近代6 (昭和1)	
12	5/16(火)	1	世32 中国史⑪ 世33 中国史⑫	
13	5/22(月)	2	日24 近代7 (昭和2) 日25 現代1 (戦後1)	
14	5/23(火)	1	世界史 中国史過去問演習	
15	5/29(月)	1	日26 現代2 (戦後2) 復習演習	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)
			80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学 I			担当者名	松井幸三郎・鈴木琴絵
学科	公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業計画		実施内容・所感
16	5/30(火)	2	世4 中世ヨーロッパ② 世5 中世ヨーロッパ③		
17	6/12(月)	1	日5 古代5 (平安時代) 日6 古代6 (平安時代末期)		
18	6/13(火)	2	世6 近世ヨーロッパ① 世7 近世ヨーロッパ②		
19	6/19(月)	1	日7 中世1 (鎌倉時代初期) 日8 中世2 (鎌倉時代中期以降)		
20	6/20(火)	2	世8 近世ヨーロッパ③ 世9 市民革命①		
21	6/26(月)	1	日9 中世3 (南北朝～室町初期) 日10 中世4 (室町中期以降～)		
22	6/27(火)	2	世10 市民革命② 世11 市民革命③		
23	7/3(月)	1	日11 近世1 (安土桃山時代) 復習演習		
24	7/4(火)	2	世12 ナポレオン時代 世13 産業革命 世14 19C～20Cのヨーロッパ		
25	7/10(月)	1	日本史過去問演習		
26	7/11(火)	2	世15 19C～20Cのヨーロッパ 世16 帝国主義から世界大戦へ 世17 ロシア革命と戦後の国際社会		
27	7/18(火)	1	世18 戦間期の欧米諸国 世19 第二次世界大戦		
28	7/24(月)	2	日本史過去問演習		
29	7/25(火)	1	世20 戦後と冷戦の始まり 世21 冷戦の拡大、各国の首脳 復習演習		
30	7/31(月)	2	前期試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅰ			担当者名	伴野 友宏
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	政治および経済分野の知識習得				
到達目標	公務員試験合格				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	絶対合格シリーズ「社会科学」テキスト編（麻生キャリアサポート）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(水)	3	政治1 統治機構 三権分立	
2	4/14(金)	3	政治2 統治機構 国会(1)	
3	4/19(水)	3	政治2 統治機構 国会(2)	
4	4/21(金)	3	政治3 統治機構 内閣	
5	4/26(水)	3	政治4 統治機構 裁判所	
6	4/28(金)	3	政治5 日本国憲法の基本的性格(1)	
7	5/10(水)	3	政治5 日本国憲法の基本的性格(2)	
8	5/12(金)	3	政治6 地方自治(1)	
9	5/17(水)	3	政治6 地方自治(2)	
10	5/19(金)	3	政治7 選挙制度(1)	
11	5/24(水)	3	政治7 選挙制度(2)	
12	5/26(金)	3	政治8 民主主義の発展	
13	5/31(水)	3	政治9 各国の政治制度	
14	6/2(金)	3	政治10 基本的人権の尊重 自由権	
15	6/7(水)	3	政治11 基本的人権の尊重 社会権	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅰ			担当者名	伴野 友宏
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	6/9(金)	3	政治12 基本的人権の尊重 その他		
17	6/14(水)	3	政治13 国際政治と日本(1)		
18	6/16(金)	3	政治13 国際政治と日本(2)		
19	6/21(水)	3	経済1 経済の仕組み 市場と価格		
20	6/23(金)	3	経済2 企業の仕組み		
21	6/28(水)	3	経済3 景気と物価		
22	6/30(金)	3	経済4 金融と日本銀行の金融政策		
23	7/5(水)	3	経済5 財政政策		
24	7/7(金)	3	経済6 為替レートと貿易		
25	7/12(水)	3	経済7 国際経済との関わり		
26	7/14(金)	3	経済8 国民所得と経済成長		
27	7/19(水)	3	経済9 現代日本経済の構造と課題		
28	7/21(金)	3	経済10 経済学史		
29	7/26(水)	3	問題演習		
30	7/28(金)	1	前期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解Ⅰ（Ａクラス）			担当者名	富田 篤子
学科	公務員科	コース	Ａ組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「文章理解」(現代文)分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。				
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験					
使用教材	" 絶対" 合格シリーズ 文章理解 (麻生キャリアサポート)				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(水)	2	ガイダンス/文章理解の出題傾向 漢字テストの案内	
2	4/19(水)	2	1 内容一致	
3	4/26(水)	2	1 内容一致	
4	5/10(水)	2	1 内容一致	
5	5/17(水)	2	1 内容一致	
6	5/24(水)	2	1 内容一致	
7	5/31(水)	2	2 要旨	
8	6/7(水)	2	2 要旨	
9	6/14(水)	2	2 要旨	
10	6/21(水)	2	3 文章整序	
11	6/28(水)	2	3 文章整序	
12	7/5(水)	2	3 文章整序	
13	7/12(水)	2	4 空欄補充	
14	7/19(水)	2	5 空欄補充	
15	7/26(水)	2	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解Ⅰ（Ｂクラス）			担当者名	伴野 友宏
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「文章理解」（現代文）分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。				
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験					
使用教材	”絶対”合格シリーズ 文章理解（麻生キャリアサポート）				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(水)	2	ガイダンス/文章理解の出題傾向 漢字テストの案内	
2	4/19(水)	2	1 内容一致	
3	4/26(水)	2	1 内容一致	
4	5/10(水)	2	1 内容一致	
5	5/17(水)	2	1 内容一致	
6	5/24(水)	2	1 内容一致	
7	5/31(水)	2	2 要旨	
8	6/7(水)	2	2 要旨	
9	6/14(水)	2	2 要旨	
10	6/21(水)	2	3 文章整序	
11	6/28(水)	2	3 文章整序	
12	7/5(水)	2	3 文章整序	
13	7/12(水)	2	4 空欄補充	
14	7/19(水)	2	5 空欄補充	
15	7/26(水)	2	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性 I			担当者名	漆畑 貴久
学科	公務員科	コース	A 組	学年	1 年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験における適性試験及び作文試験対策				
到達目標	作文試験において合格基準を満たす作文が書けるようになる				
担当教員 実務経験					
使用教材	プリント配付				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/12(水)	1	適性試験 作文の書き方・作文の基礎知識	
2	4/19(水)	1	適性試験 失敗から学んだこと	
3	4/26(水)	1	適性試験 仕事をする上で最も大切なと思うこと	
4	5/3(水)	1	適性試験 これからチャレンジしたいこと	
5	5/10(水)	1	適性試験 コロナ禍を経験し、自分が変わったこと	
6	5/17(水)	1	適性試験 大人と子供の違いについて	
7	5/24(水)	1	適性試験 自分が成長したと思うこと	
8	5/31(水)	1	適性試験 言葉の大切さについて思うこと	
9	6/7(水)	1	適性試験 これから公務員になる公務員へのメッセージ	
10	6/14(水)	1	適性試験 公務員の職務に生かせる自分の長所	
11	6/21(水)	1	適性試験 私を変えた一言、忘れられない一言	
12	6/28(水)	1	適性試験 あなたの考える理想の職場	
13	7/5(水)	1	適性試験 今までで最も感動したこと	
14	7/12(水)	1	適性試験 人と接する上で必要なこと	
15	7/19(水)	1	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	資料解釈Ⅰ			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(火)	4	適性検査① ガイダンス	
2	4/18(火)	4	適性検査② Ⅲ－1 指数	
3	4/25(火)	4	適性検査③ Ⅲ－1 指数	
4	5/2(火)	4	適性検査④ Ⅲ－2 増加率	
5	5/9(火)	4	適性検査⑤ Ⅲ－2 増加率	
6	5/16(火)	4	適性検査⑥ Ⅲ－3 割合	
7	5/23(火)	4	適性検査⑦ Ⅲ－4 実数	
8	5/30(火)	4	適性検査⑧ Ⅲのまとめ	
9	6/13(火)	4	適性検査⑨ Ⅱ－4 角度	
10	6/20(火)	4	適性検査⑩ Ⅱ－4 角度	
11	6/27(火)	4	適性検査⑪ Ⅱ－5 円の性質	
12	7/4(火)	4	適性検査⑫ Ⅱ－6 図形の相似	
13	7/11(火)	4	適性検査⑬ 資料解釈総合問題①	
14	7/18(火)	4	適性検査⑭ 資料解釈総合問題② 期末試験対策	
15	7/25(火)	4	期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能 I			担当者名	伴野 友宏
学科	公務員科	コース	A 組	学年	1 年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	物事に対する思考力を向上させ、瞬時に判断ができるようにする。そこから面接試験等における考え方の一助とする。また、タブレットを導入するにあたりその操作を学び、公務員試験の申し込みやメール確認に生かせるようにする。				
到達目標	自己の強みを理解し、それを公務員試験や社会で活かすための広い視野と表現方法を身につける。				
担当教員 実務経験					
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/14(金)	1	適性試験 他己紹介・人生の折れ線グラフ	
2	4/21(金)	1	適性試験 自己分析 自分の強み・弱みとは？	
3	4/28(金)	1	適性試験 「強み」の活かし方・アピール方法	
4	5/12(金)	1	適性試験 タブレットの使用方法①	
5	5/19(金)	1	適性試験 タブレットの使用方法②	
6	5/26(金)	1	適性試験 タブレットの使用方法③	
7	6/2(金)	1	適性試験 上手に質問の答えを導き出す方法①	
8	6/9(金)	1	適性試験 ケーススタディ②	
9	6/16(金)	1	適性試験 ケーススタディ③	
10	6/23(金)	1	適性試験 プレゼンで大切にすべきこと	
11	6/30(金)	1	適性試験 3分間スピーチのコツ	
12	7/7(金)	1	適性試験 社会を診る：小売店の分析・改善	
13	7/14(金)	1	適性試験 社会を診る：サービス業の分析・改善	
14	7/21(金)	1	適性試験 多面的な捉え方を身につける	
15	7/28(金)	1	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	専門演習 I			担当者名	徳永 好宣
学科	公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	適性試験の練習ならびに、前週の授業の確認を目的とした確認テストを実施する				
到達目標	①適性試験が解けるようになる ②確認テストを実施することで、自分の学力定着が図れるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	プリント配付				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	1	適性試験 公務員試験ガイダンス(長谷川)	
2	4/17(月)	1	適性試験 確認テスト①	
3	4/24(月)	1	適性試験 確認テスト②	
4	5/1(月)	1	適性試験 確認テスト③	
5	5/8(月)	1	適性試験 警察の問題を解いてみる	
6	5/15(月)	1	適性試験 確認テスト④	
7	5/22(月)	1	適性試験 確認テスト⑤	
8	5/29(月)	1	適性試験 確認テスト⑥	
9	6/12(月)	1	適性試験 確認テスト⑦	
10	6/19(月)	1	適性試験 確認テスト⑧	
11	6/26(月)	1	適性試験 確認テスト⑨	
12	7/3(月)	1	適性試験 確認テスト⑩	
13	7/10(月)	1	適性試験 確認テスト⑪	
14	7/24(月)	1	適性試験 確認テスト⑫	
15	7/31(月)	1	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習Ⅰ（Ａクラス）			担当者名	深井 淳二
学科	短期公務員科	コース	Ａ組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に地学・物理を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	4	地学 1 地球の構成物質(1)	
2	4/17(月)	4	地学 2 地球の内部構造と地震	
3	4/24(月)	4	地学 3 地球の歴史	
4	5/1(月)	4	地学 4 地球・太陽・月	
5	5/8(月)	4	地学 5 太陽系・恒星	
6	5/15(月)	4	地学 6 大気と海洋	
7	5/22(月)	4	地学 7 天気	
8	5/29(月)	4	物理 1 力の性質(1)	
9	6/12(月)	4	物理 1 力の性質(2)	
10	6/19(月)	4	物理 2 物体の運動	
11	6/26(月)	4	物理 3 運動量・エネルギー	
12	7/3(月)	4	物理 3 運動量・エネルギー 4 熱とエネルギー	
13	7/10(月)	4	物理 5 波動	
14	7/24(月)	4	物理 6 電気回路と磁気	
15	7/31(月)	4	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習Ⅰ（Ｂクラス）			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	Ａ組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分	総授業回数 15 回	授業形態	講義	
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)		単位数	2単位	
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に地学・物理を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	自然科学 テキスト＆問題集（ウイネット）				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	4	地学 1 地球の構成物質(1)	
2	4/17(月)	4	地学 2 地球の内部構造と地震	
3	4/24(月)	4	地学 3 地球の歴史	
4	5/1(月)	4	地学 4 地球・太陽・月	
5	5/8(月)	4	地学 5 太陽系・恒星	
6	5/15(月)	4	地学 6 大気と海洋	
7	5/22(月)	4	地学 7 天気	
8	5/29(月)	4	物理 1 力の性質(1)	
9	6/12(月)	4	物理 1 力の性質(2)	
10	6/19(月)	4	物理 2 物体の運動	
11	6/26(月)	4	物理 3 運動量・エネルギー	
12	7/3(月)	4	物理 3 運動量・エネルギー 4 熱とエネルギー	
13	7/10(月)	4	物理 5 波動	
14	7/24(月)	4	物理 6 電気回路と磁気	
15	7/31(月)	4	前期末試験	

定期試験	筆記				
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %	

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A組	学年	1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験にて出題される「地理」の範囲について一から講義をし、公務員試験が解ける力をつける。				
到達目標	「地理」の基本事項を覚えることができ、公務員試験の出題形式の問題が解けるようになる。				
担当教員実務経験	学習塾を運営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート) Glexa (e-ラーニングシステム)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(木)	4	ガイダンス 1 気候(1)	
2	4/20(木)	4	1 気候(1) 2 気候(2)・土壌	
3	4/27(木)	4	3 風・日本の気候 4 地形(1)	
4	5/11(木)	4	5 地形(2) 6 地形(3)	
5	5/18(木)	4	7 地図 8 世界の農牧業(1)	
6	5/25(木)	4	9 世界の農牧業(2) 10 生産量・輸出量・発電	
7	6/1(木)	4	11 東アジア(1) 12 東アジア(2)	
8	6/8(木)	4	13 東南アジア(1) 14 東南アジア(2)	
9	6/15(木)	4	15 南アジア 16 西アジア	
10	6/22(木)	4	17 アフリカ 18 ヨーロッパ(1)	
11	6/29(木)	4	19 ヨーロッパ(2) 20 ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	7/6(木)	4	21 北アメリカ 22 南アメリカ	
13	7/13(木)	4	23 オセアニア 24 人口 25 漁業・産業	
14	7/20(木)	4	まとめの授業	
15	7/27(木)	4	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導Ⅱ			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A組	学年	2年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 30 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験、就職対策についての全般的な指導				
到達目標	社会人としてのビジネスマナーや面接マナーを身に着け、公務員試験、就職試験に合格できるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	なし				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/14(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
2	4/21(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
3	4/28(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
4	5/12(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
5	5/19(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
6	5/26(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
7	6/2(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
8	6/9(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
9	6/16(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
10	6/23(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
11	6/30(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
12	7/7(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
13	7/14(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
14	7/21(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	
15	7/28(金)	2	公務員試験受験指導、適性検査	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	40 %	学習成果評価（定期試験）	60 %

開講年度	令和 5 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導Ⅱ			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A組	学年	2年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	9/22(木)	2	公務員面接試験受験指導		
17	9/29(木)	2	公務員面接試験受験指導		
18	10/6(木)	2	公務員面接試験受験指導		
19	10/13(木)	2	公務員面接試験受験指導		
20	10/20(木)	2	公務員面接試験受験指導		
21	10/27(木)	2	一般常識、就職指導		
22	11/10(木)	2	一般常識、就職指導		
23	11/17(木)	2	一般常識、就職指導		
24	11/24(木)	2	一般常識、就職指導		
25	12/1(木)	2	一般常識、就職指導		
26	12/8(木)	2	一般常識、就職指導		
27	12/22(木)	2	一般常識、就職指導		
28	1/12(木)	2	一般常識、就職指導		
29	1/19(木)	2	一般常識、就職指導		
30	1/26(木)	2	後期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅲ			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース	A組	学年	2年
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験合格に向け、判断推理の問題演習を行う。				
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	判断推理の問題プリント				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	3	第12章 軌跡	
2	4/11(火)	2	第13章 平面図形の分割・構成	
3	4/17(月)	3	第14章 空間図形の分割・構成	
4	4/18(火)	2	第15章 多面体	
5	4/24(月)	3	第16章 展開図	
6	4/25(火)	2	第17章 立体の切断 第18章 折り紙	
7	5/1(月)	3	判断推理 問題演習 1	
8	5/2(火)	3	判断推理 問題演習 2	
9	5/8(月)	2	判断推理 問題演習 3	
10	5/9(火)	3	判断推理 問題演習 4	
11	5/15(月)	2	判断推理 問題演習 5	
12	5/16(火)	3	判断推理 問題演習 6	
13	5/22(月)	2	判断推理 問題演習 7	
14	5/23(火)	3	判断推理 問題演習 8	
15	5/29(月)	2	判断推理 問題演習 9	

定期試験	筆記
評価基準	学習過程評価（平常点） 20 % 学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅲ			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース	A組	学年	2年
授業 回数	授業日	時 限	授業計画		実施内容・所感
16	5/30(火)	3	判断推理 問題演習 10		
17	6/12(月)	2	判断推理 問題演習 11		
18	6/13(火)	3	判断推理 問題演習 12		
19	6/19(月)	2	判断推理 問題演習 13		
20	6/20(火)	3	判断推理 問題演習 14		
21	6/26(月)	2	令和5年度海上保安学校(特別) 解答		
22	6/27(火)	3	令和5年度海上保安学校(特別) 解説		
23	7/3(月)	2	問題演習		
24	7/4(火)	3	問題演習		
25	7/10(月)	2	問題演習		
26	7/11(火)	3	問題演習		
27	7/18(火)	2	問題演習		
28	7/24(月)	2	問題演習		
29	7/25(火)	3	問題演習		
30	7/31(月)	2	前期試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅲ			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の「数的推理」分野の演習と講義を行う。1年次から継続・発展的な内容を取り扱う。				
到達目標	「数的推理」における実践的な知識を養い、高度な問題も解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	数的処理（数的推理）・資料解釈テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	4	1章 数と式の基本	
2	4/12(水)	3	1章 数と式の基本	
3	4/17(月)	4	2章 約数・倍数、記数法	
4	4/19(水)	3	3章 方程式の応用	
5	4/24(月)	4	3章 方程式の応用	
6	4/26(水)	3	4章 連立方程式	
7	5/1(月)	4	4章 連立方程式	
8	5/8(月)	4	5章 不等式	
9	5/10(水)	3	6章 時間・距離・速さ（1）	
10	5/15(月)	4	6章 時間・距離・速さ（1）	
11	5/17(水)	3	7章 時間・距離・速さ（2）	
12	5/22(月)	4	8章 割合・比	
13	5/24(水)	3	9章 濃度	
14	5/29(月)	4	10章 仕事算	
15	5/31(水)	3	11章 数列・規則	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）		80 %	学習成果評価（定期試験） 20 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅲ			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感	
16	6/7(水)	3	12章 魔法陣・覆面算		
17	6/12(月)	4	13章 その他数量問題		
18	6/14(水)	3	14章 三角形と多角形		
19	6/19(月)	4	15章 円		
20	6/21(水)	3	16章 面積・角度		
21	6/26(月)	4	17章 立体図形		
22	6/28(水)	3	18章 場合の数		
23	7/3(月)	4	19章 順列・組合せ		
24	7/5(水)	3	20章 確率（1）		
25	7/10(月)	4	20章 確率（1）		
26	7/12(水)	3	21章 確率（2）		
27	7/19(水)	3	数的推理 総合演習1		
28	7/24(月)	4	数的推理 総合演習2		
29	7/26(水)	3	数的推理 総合演習3		
30	7/31(月)	4	前期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅲ			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース	A組	学年	2年
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験合格に向け、過去問演習を行う。				
到達目標	本年度の公務員試験合格に向けて理解を深め、実力をつける				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員試験過去問題プリント				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/14(金)	2	平成25年度海上保安学校(特別) 解答	
2	4/14(金)	3	平成25年度海上保安学校(特別) 解説	
3	4/21(金)	2	平成25年度 国家公務員問題 解答	
4	4/21(金)	3	平成25年度 国家公務員問題 解説	
5	4/28(金)	2	平成25年度刑務官試験 解答	
6	4/28(金)	3	平成25年度刑務官試験 解説	
7	5/12(金)	2	平成25年度海上保安学校問題 解答	
8	5/12(金)	3	平成25年度海上保安学校問題 解説	
9	5/19(金)	2	平成26年度海上保安学校(特別) 解答	
10	5/19(金)	3	平成26年度海上保安学校(特別) 解説	
11	5/26(金)	2	平成26年度 国家公務員問題 解答	
12	5/26(金)	3	平成26年度 国家公務員問題 解説	
13	6/2(金)	2	平成26年度刑務官試験 解答	
14	6/2(金)	3	平成26年度刑務官試験 解説	
15	6/9(金)	2	平成26年度海上保安学校問題 解答	

定期試験	筆記
評価基準	学習過程評価（平常点） 20 % 学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅲ			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース	A組	学年	2年
授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感	
16	6/9(金)	3	平成26年度海上保安学校問題 解説		
17	6/16(金)	2	平成27年度海上保安学校(特別) 解答		
18	6/16(金)	3	平成27年度海上保安学校(特別) 解説		
19	6/23(金)	2	平成27年度 国家公務員問題 解答		
20	6/23(金)	3	平成27年度 国家公務員問題 解説		
21	6/30(金)	2	平成27年度刑務官試験 解答		
22	6/30(金)	3	平成27年度刑務官試験 解説		
23	7/7(金)	2	平成28年度海上保安学校(特別) 解答		
24	7/7(金)	3	平成28年度海上保安学校(特別) 解説		
25	7/14(金)	2	平成28年度 国家公務員問題 解答		
26	7/14(金)	3	平成28年度 国家公務員問題 解説		
27	7/21(金)	2	平成29年度 国家公務員問題 解答		
28	7/21(金)	3	平成29年度 国家公務員問題 解説		
29	7/28(金)	2	復習		
30	7/28(金)	3	前期試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学Ⅲ			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の「人文科学」分野を問題集を使いながら演習・解説することにより、人文科学の解ける力を養う。				
到達目標	「人文科学」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 人文科学 問題集編・問題集解説編（麻生キャリアサポート） Glexa（e-ラーニングシステム）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(火)	3	ガイダンス 日本史（近世）(1)	
2	4/12(水)	1	地理（気候・土壌）	
3	4/18(火)	3	世界史（中国史）(1)	
4	4/19(水)	1	日本史（近世）(2)	
5	4/25(火)	3	地理（地形）	
6	4/26(水)	1	世界史（中国史）(2)	
7	5/2(火)	3	日本史（近世）(3)	
8	5/9(火)	3	地理（地図・時差）	
9	5/10(水)	1	世界史（中国史）(3)	
10	5/16(火)	3	日本史（近代）(1)	
11	5/17(水)	1	地理（植生・農業）	
12	5/23(火)	3	世界史（中国史）(4)	
13	5/24(水)	1	日本史（近代）(2)	
14	5/30(火)	3	地理（産業・貿易・発電）	
15	5/31(水)	1	世界史（中国史）(5)	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学Ⅲ			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	6/7(水)	1	日本史（近代）(3)		
17	6/13(火)	3	地理（日本）		
18	6/14(水)	1	世界史（西洋史）(1)		
19	6/20(火)	3	日本史（現代）		
20	6/21(水)	1	地理（アジア・アフリカ）		
21	6/27(火)	3	世界史（西洋史）(2)		
22	6/28(水)	1	日本史（古代）		
23	7/4(火)	3	地理（ヨーロッパ・アメリカ）		
24	7/5(水)	1	世界史（西洋史）(3)		
25	7/11(火)	3	日本史（中世）		
26	7/12(水)	1	地理（人口、その他）		
27	7/18(火)	3	世界史（西洋史）(4)		
28	7/19(水)	1	世界史（西洋史）(5)		
29	7/25(火)	3	世界史（西洋史）(6)		
30	7/26(水)	1	前期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅲ			担当者名	加藤 佳明
学科	公務員科	コース	A 組		学年 2年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験社会科学対策				
到達目標	公務員試験合格				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	2	民主主義・政治制度	
2	4/13(木)	3	日本国憲法	
3	4/17(月)	2	基本的人権	
4	4/20(木)	3	三権分立	
5	4/24(月)	2	国会	
6	4/27(木)	3	国会	
7	5/1(月)	2	内閣	
8	5/8(月)	2	内閣	
9	5/11(木)	3	裁判所	
10	5/15(月)	2	裁判所	
11	5/18(木)	3	地方自治	
12	5/22(月)	2	選挙制度	
13	5/25(木)	3	国際政治	
14	5/29(月)	2	市場・価格	
15	6/1(木)	3	企業	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	0 %	学習成果評価（定期試験） 100 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅲ			担当者名	加藤 佳明
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	6/8(木)	3	景気・物価		
17	6/12(月)	2	金融		
18	6/15(木)	3	金融		
19	6/19(月)	2	財政		
20	6/22(木)	3	財政		
21	6/26(月)	2	為替・貿易		
22	6/29(木)	3	国際経済		
23	7/3(月)	2	経済指標		
24	7/6(木)	3	日本経済史		
25	7/10(月)	2	経済学史・経済用語		
26	7/13(木)	3	労働事情		
27	7/20(木)	3	社会保障		
28	7/24(月)	2	過去問演習		
29	7/27(木)	3	過去問演習		
30	7/31(月)	2	前期末試験		

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解Ⅲ			担当者名	富田 篤子
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「文章理解」(現代文)分野を講義することにより、自分で現代文の読解ができ、問題を解くことができる。				
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	高卒程度 公務員試験対策 国語・英語・文章理解 テキスト&問題集(ウイネット)				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(火)	2	適性試験練習 ガイダンス / 現代文 内容一致	
2	4/18(火)	2	適性試験練習 現代文 内容一致	
3	4/25(火)	2	適性試験練習 現代文 内容一致	
4	5/9(火)	2	適性試験練習 現代文 内容一致	
5	5/16(火)	2	適性試験練習 現代文 内容一致	
6	5/23(火)	2	適性試験練習 現代文 要旨	
7	5/30(火)	2	適性試験練習 現代文 要旨	
8	6/6(火)	2	適性試験練習 現代文 要旨	
9	6/13(火)	2	適性試験練習 現代文 並べ替え	
10	6/20(火)	2	適性試験練習 現代文 並べ替え	
11	6/27(火)	2	適性試験練習 現代文 並べ替え	
12	7/4(火)	2	適性試験練習 現代文 空欄補充	
13	7/11(火)	2	適性試験練習 現代文 空欄補充	
14	7/18(火)	2	適性試験練習 現代文 空欄補充	
15	7/25(火)	2	前期末試験	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価(平常点)		20 %	学習成果評価(定期試験) 80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性Ⅲ			担当者名	漆畑 貴久
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験における適性試験及び作文試験対策				
到達目標	作文試験において合格基準を満たす作文が書けるようになる				
担当教員 実務経験	平成11.4～26.3 28.4～ 中央大学法学部通信教育部インストラクター（刑事政策担当） 平成15.4～26.3 日本比較法研究所 嘱託研究員 他、大学講師等多数				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/13(水)	1	適性試験 目標達成のために心掛けていること	
2	4/20(水)	1	適性試験 今後、挑戦したいこと	
3	4/27(水)	1	適性試験 人に寄り添うということ	
4	5/11(水)	1	適性試験 社会人として必要とされる能力とは何か	
5	5/18(水)	1	適性試験 あなたが生きていく上で大切にしていることは何か	
6	5/25(水)	1	適性試験 仕事を継続するために必要だと感じたことについて具体的に述べなさい	
7	6/1(水)	1	適性試験 良好な人間関係を築くために必要だと思うこと	
8	6/8(水)	1	適性試験 人から信頼されるために大切にしていること	
9	6/15(水)	1	適性試験 信頼される公務員とは	
10	6/22(水)	1	適性試験 自分を分析し、長所をどのように社会人として生かしていくか	
11	6/29(水)	1	適性試験 これまでで一番成長したと思える経験は何か。	
12	7/6(水)	1	適性試験 学生時代に力を入れていたこと	
13	7/13(水)	1	適性試験 他人と意見が対立したらどうするか、解決策と行動、理由を述べよ	
14	7/20(水)	1	適性試験 5年後になりたい自分とそれに向けて実行していくこと	
15	7/27(水)	1	適性試験 前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	資料解釈Ⅲ			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野の演習と講義を行う。1年次から継続・発展的な内容を取り扱う。				
到達目標	「資料解釈」における実践的な知識を養い、高度な問題も解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	数的処理（数的推理）・資料解釈テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(木)	1	適性検査① 序章 資料解釈の基本	
2	4/20(木)	1	適性検査② 1章 実数と構成比	
3	4/27(木)	1	適性検査③ 1章 実数と構成比	
4	5/11(木)	1	適性検査④ 2章 指数と構成比	
5	5/18(木)	1	適性検査⑤ 2章 指数と構成比	
6	5/25(木)	1	適性検査⑥ 3章 増減率	
7	6/1(木)	1	適性検査⑦ 3章 増減率	
8	6/8(木)	1	適性検査⑧ 4章 特殊な数表・図表	
9	6/15(木)	1	適性検査⑨ 総合演習問題①	
10	6/22(木)	1	適性検査⑩ 総合演習問題②	
11	6/29(木)	1	適性検査⑪ 総合演習問題③	
12	7/6(木)	1	適性検査⑫ 総合演習問題④	
13	7/13(木)	1	適性検査⑬ 総合演習問題⑤	
14	7/20(木)	1	適性検査⑭ 総合演習問題⑥	
15	7/27(木)	1	前期末試験	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	80 %	学習成果評価（定期試験）	20 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	公務員演習Ⅲ			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース	B組		学年 2年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の合格に向け、25問50分の過去問演習を行う。				
到達目標	知識の復習、試験に慣れる。公務員試験合格。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員試験過去問題のオリジナルプリント				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(火)	4	50分模擬試験 第1回	
2	4/18(火)	4	50分模擬試験 第2回	
3	4/25(火)	4	50分模擬試験 第3回	
4	5/2(火)	4	50分模擬試験 第4回	
5	5/9(火)	4	50分模擬試験 第5回	
6	5/16(火)	4	50分模擬試験 第6回	
7	5/23(火)	4	50分模擬試験 第7回	
8	5/30(火)	4	50分模擬試験 第8回	
9	6/13(火)	4	50分模擬試験 第9回	
10	6/20(火)	4	50分模擬試験 第10回	
11	6/27(火)	4	50分模擬試験 第11回	
12	7/4(火)	4	50分模擬試験 第12回	
13	7/11(火)	4	50分模擬試験 第13回	
14	7/18(火)	4	50分模擬試験 第14回	
15	7/25(火)	4	前期試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	専門演習Ⅲ			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース	A組		学年 2年
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回	授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の合格に向け、前の週に行った勉強内容を復習するため、確認テストを行う。成績不良者は水曜日の4時間目に補習を行う。また、適性検査の練習も行う。				
到達目標	前の週に行った勉強内容の理解。公務員試験合格。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	オリジナル確認テスト。適性検査。				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(月)	1	適性検査 今年の公務員試験について	
2	4/17(月)	1	適性検査 確認テスト①	
3	4/24(月)	1	適性検査 確認テスト②	
4	5/1(月)	1	適性検査 確認テスト③	
5	5/8(月)	1	適性検査 問題演習	
6	5/15(月)	1	適性検査 確認テスト④	
7	5/22(月)	1	適性検査 確認テスト⑤	
8	5/29(月)	1	適性検査 確認テスト⑥	
9	6/12(月)	1	適性検査 確認テスト⑦	
10	6/19(月)	1	適性検査 確認テスト⑧	
11	6/26(月)	1	適性検査 確認テスト⑨	
12	7/3(月)	1	適性検査 確認テスト⑩	
13	7/10(月)	1	適性検査 確認テスト⑪	
14	7/24(月)	1	適性検査 確認テスト⑫	
15	7/31(月)	1	前期試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 5 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習Ⅲ			担当者名	深井 淳二
学科	公務員科	コース	A 組	学年	2年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の自然科学（理科）分野の過去問演習を行う				
到達目標	実力をつけ、本年度の公務員試験に合格できる力をつける				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	過去問題を編集したプリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(木)	4	化学(3)の過去問演習と解説	
2	4/20(木)	4	化学(4)の過去問演習と解説	
3	4/27(木)	4	地学(1)の過去問演習と解説①	
4	5/11(木)	4	地学(1)の過去問演習と解説②	
5	5/18(木)	4	地学(2)の過去問演習と解説	
6	5/25(木)	4	地学(3)の過去問演習と解説	
7	6/1(木)	4	生物(1)の過去問演習と解説	
8	6/8(木)	4	生物(2)の過去問演習と解説	
9	6/15(木)	4	生物(3)の過去問演習と解説	
10	6/22(木)	4	生物(4)の過去問演習と解説	
11	6/29(木)	4	物理(1)の過去問演習と解説	
12	7/6(木)	4	物理(2)の過去問演習と解説	
13	7/13(木)	4	物理(3)の過去問演習と解説	
14	7/20(木)	4	物理(4)の過去問演習と解説	
15	7/27(木)	4	前期試験	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）		20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %